

(仮称)那覇市性の多様性を尊重する条例の制定に向けての市民活動団体アンケート集計

那覇市 総務部 平和交流・男女参画課

1 調査の概要

名称	(仮称)那覇市性の多様性を尊重する条例の制定に向けての市民活動団体アンケート調査		
アンケート期間	令和7年7月24日(木)～8月18日(月)		
目的	本市で、活動されている団体(行政関連団体、自治会、NPOなど)では、性の多様性(LGBT等)について、現在どのような取り組みをされているのかを調査し、条例素案策定するための参考資料とする。		
対象	那覇市で活動をしている下記の団体※下記の団体名参照		
※団体	那覇市本庁管内自治会	41	団体
	市営住宅管内自治会	13	団体
	真和志管内自治会	39	団体
	首里管内自治会	37	団体
	小禄管内自治会	21	団体
	なは市民活動支援センター3階に入居している行政関連団体	15	団体
	なは市民活動支援センター2階の事務所に入居している団体	6	団体
	なは市民活動支援センター2階のブースに入居している団体	16	団体
	合計	188	団体
回答数		94	団体

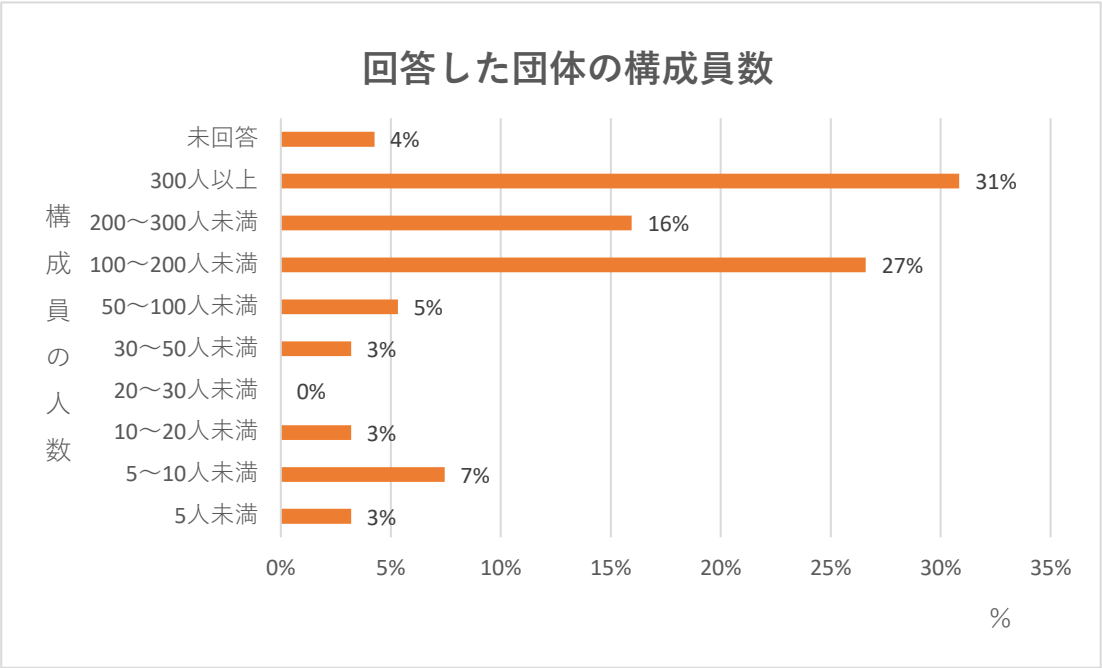
2 アンケート結果から見てきたこと

1	本市の取り組みである那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録について「内容はよくわからないが、聞いたことはある」と回答した事業所が54%(51団体)で、「聞いたことがなく、知らない」が31%(29団体)と合わせると回答した団体の85%が内容を知らないとしていることから、周知が不足していることがわかりました。
2	性の多様性(LGBT等)のスタッフに対して、配慮をした取り組みを行っていない団体は87%であることから取り組みが進んでいない状況が確認できました。
3	市民活動団体で、今後性の多様性(LGBT等)に配慮した取り組みについては、「取り組む予定はない」と回答した団体は60%(56団体)でした。自由記述欄には「自分の周りで感じるものがなく、問題意識がない」「だれでも使用できるトイレは障害者用トイレのみで、自治会としてL.G.B.Tに取り組むのはむずかしい。」など意見がありました。一方で「自治会へ資料(情報)を提供してほしい」「チャンスがあれば研修を実施してみたい」といった意見もあることから、地域づくりの支援の1つとして性の多様性を尊重する考え方について、行政と連携して関わっていくことが重要であることがわかりました。

3 調査結果

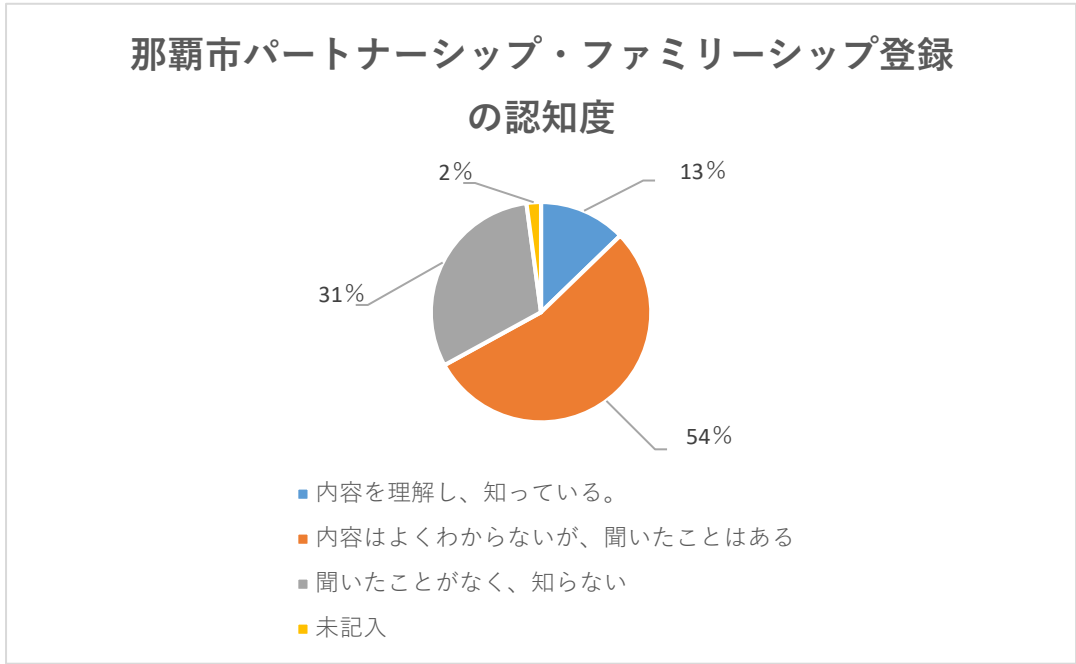
【質問1】あなたの所属している団体(自治会、NPOなど)の人数を教えてください。(役員含む)

「300人以上」と回答した団体が29団体と最も多く31%で、「100～200人」が27%(25団体)、「200～300人」が16%(15団体)と続いています。



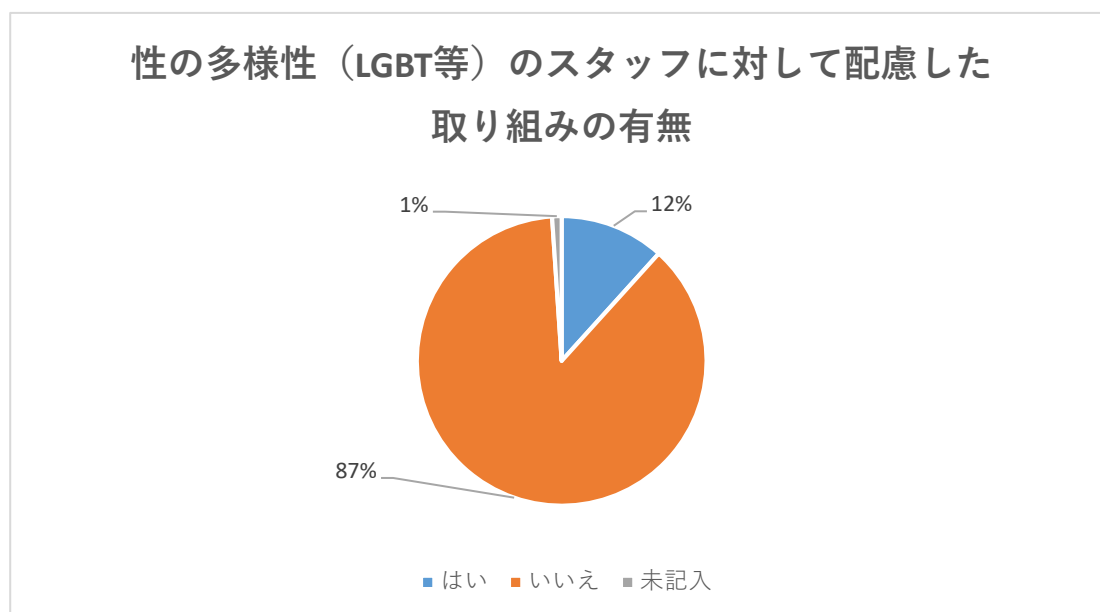
【質問2】 那覇市の取り組みである那覇市パートナーシップ・ファミリーシップの登録について知っていますか？

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録について「内容はよくわからないが、聞いたことはある」が54%(51団体)で一番多く、「聞いたことがなく、知らない」が31%(29団体)、「内容を理解し、知っている」が13%(12団体)と続いています。



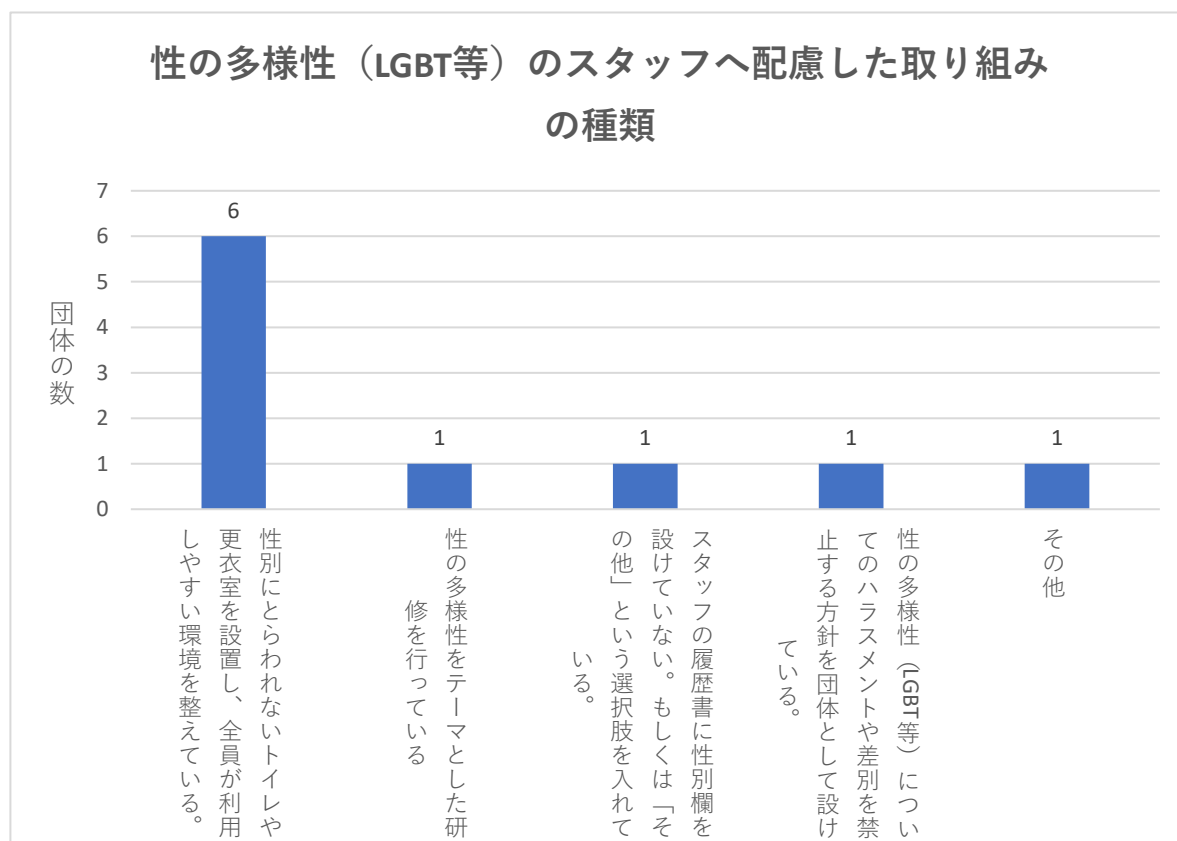
【質問3】 あなたの所属している団体(自治会、NPOなど)で、性的マイノリティのスタッフに対して配慮をした取り組みをしていますか？当てはまる方に○を付けてください。

性的マイノリティのスタッフに対して、配慮をした取り組みを行っている(「はい」を選んだ)団体は、12%(11団体)で、行っていない(「いいえ」を選んだ)団体は87%(82団体)でした。



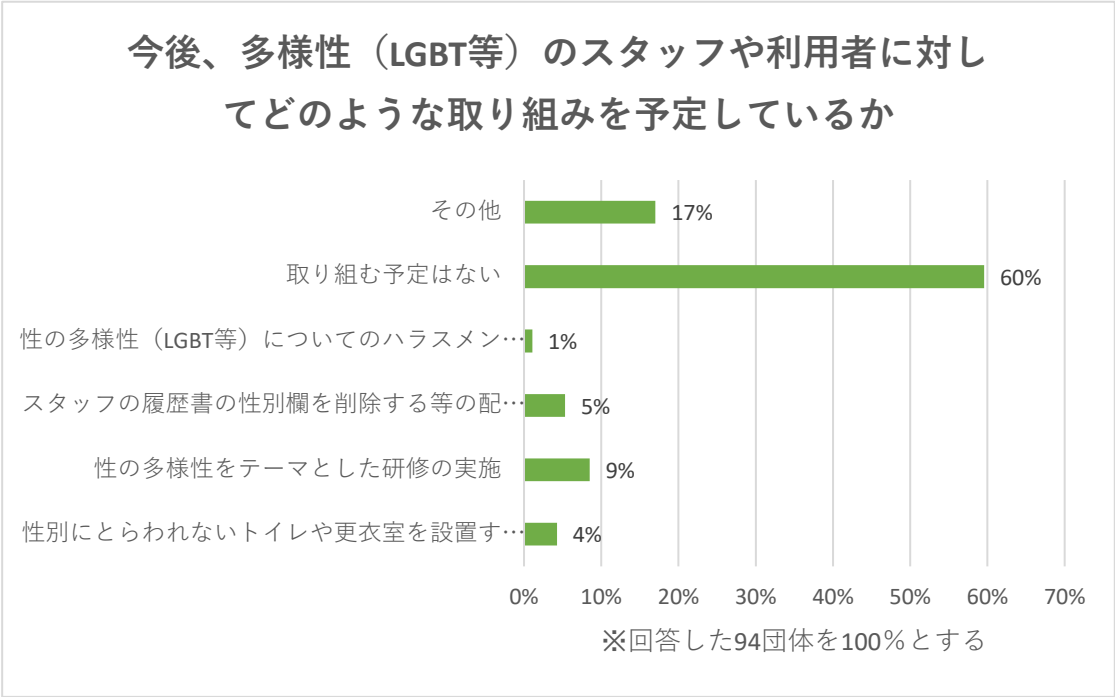
【質問4】 質問3で「はい」を選択した方へ質問です。どのような配慮をしているのか下記の中から選択してください。(複数回答可)

性の多様性(LGBT等)のスタッフに対して配慮した取り組みを行っていると回答した団体は、全体(11団体)のうち「性別にとらわれないトイレや更衣室を設置し、全員が利用しやすい環境を整えている」を選んだ団体が55%(6団体)と最も多かったです。



【質問5】 全員への質問です。今後、あなたの所属している団体（自治会、NPOなど）で検討している内容を選んでください。（複数回答可）

回答した94団体のうち、「取り組む予定はない」と回答した団体は60％（56団体）と最も多い回答となりました。



※質問5 質問4で「その他」を選択した団体の自由記述欄

- ・まだ事例が具体的にないので、予定も計画もない
- ・近い人や業界内に当事者がいることもあり、ある程度の共通認識は個々で培われていると考えます。回答の選択肢にあるように、アンケートなどで選択肢を「男」「女」以外にも「その他」を設けるなど、まだできることがあると思いました。
- ・今のところ必要性があると認められる事案がありません。
- ・必要であれば検討する
- ・予定はないが、リーフレットなどがあれば役員会で配布したい
- ・団体内で話し合ったことはないです。
- ・今までになかったテーマだったので、多様性などから取り組んでいけたら、と思いました。
- ・今後問題（必要性）が発生する時に検討したい。
- ・研修等を行いたい
- ・今後、検討したい。
- ・未定（今後検討する）
- ・現在のところ、難しい問題です。
- ・今後事務局と話し合っていきたいです。
- ・住民の方々の理解がまだ十分に得られていないため
- ・申請書類の性別欄の見直しを行う
- ・今のところあまり取り組む予定はないが、今後必要性を感じる
- ・特別な取り組みはしていないが誰でも参加できる団体です。

・那覇のとりくみに賛同して活動をしている。
・あまり拘ることなく柔軟性を持って受け入れればいいかなと思います。
・あまりわからない

<b>【質問6】 性の多様性についてのご意見やアンケートの感想などを、自由に記述してください。</b>
・性についての取り組む勉強が必要かと思われる。実感がない
・このアンケートを契機に、那覇市で制定予定の条例の基となっています「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」(令和五年法律第六十八号)を読みました。以下に、その感想を記します。法律には、目的として、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解が必ずしも十分でない現状に鑑み」と記載されています。性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性がある事は、生物学的にある確率で存在することがわかっており、その為か日本では、昔から多様性を認める文化であると思います。ですので、特段にこのような法律を作り、「性的指向及びジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別があってはならない」から「相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを旨として施策を行わなければならない」との基本理念には、首を傾げざるをえません。「相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資すること」を理念とするならば、「思いやりの心」や「感謝の心」「互惠の精神」など、道徳教育の充実や、道徳心の涵養ができるような施策を行う方が、より高い効果が得られることは間違いありません。また、この法律により、学校までその施策に協力するよう努める事を求められており、その結果、学校で子供たちへどのような教育がなされているのか、大変心配になるのは、私だけではないと思われます。那覇市におかれましては、実際に、日本より先にこの法律を施行した米国で、結果として起こった事例をお調べ頂き、真に那覇市民、特に子供たちの幸福につながる条例を作って頂けますよう、心よりお願い申し上げます。
・那覇市の取り組んでいる「性の多様性を尊重する」事業は、少しずつ受け入れられている感じがします。いろいろな価値観の人達がありますが、どんな人でも生きやすい社会になるように一步步地道に取り組んでいけたらと思います。
・条例の制定に賛成です。
・現在、そのような方がいませんので、考えたことがない
・今後勉強したい
・市営住宅の入居も可能であるのですね。
・多様性についての知識が不足していて、会員に話や理解を求めることができない。
・非常に重要！！な取り組み！
・市営住宅の住民の間では、まだLGBTの意識は薄いと思いますが、職場ではパレードに参加したり電子メールでLGBTDAYには周知されています。同性婚等が那覇市ではどうなっているのか？と知りたいです。
・チャンスがあれば研修を実施してみたい。
・他人への配慮というのは、規則や条例で定めるものではない。道徳の問題である。パートナーシップ登録などについては賛同できる。しかし、条例として「～に配慮しなければならない」等強制力があるものは反対である。※「ちむぐくるトイレ」について、身体女性のジェンダーの方が身体男性のジェンダー者にレイプされたりした場合を考えるとおそろしい。男子トイレ、女子トイレに入りたくない考えるのは当人個人なので、周りに配慮するのは当人がするべきことと考える。
・LGBTQの方達が特別な存在でない(そうならない)社会をつくっていければ、良いと考える。
・条例として定めるものなのか。これまで不都合な経験がない。
・LGBTの人に対して特に対応する必要はない。コストがかかる割に対象人数は少ない。各自で工夫すればよい。性別欄を削除するのは反対です。男か女か判別できることは、対応の手助けになる。性別がわかることでより適切な対応・判断ができることがあるので。
・性の多様性はあってもいいのでは(男と女だけにとらわれない)

・我が自治会において、性の多様性に関する事例が出てきた場合、自治会としても真剣に考えていきたい。
・興味なし
・性の多様性は必要だと思います。
・身近にいないのでもしくはわからないので、対策は考えていません。
・その問題について、特に意識する事がない。問題提起もない。
・勉強不足で、自治会で研修会やトイレの話まではいたっていない。難しいように思う。現在の自治会活動で、いっぱいいっぱいである。条例の制定については、個人的には賛成である。
・余りよくわからない
中学校で女子ですが男子の制服を希望し、学校も理解を示し、講演会をして全生徒で考える取り組みをしていました。とても素晴らしい取り組みだと思いました。
・自治会内で問題になったことはない。話として挙がってきたこともない。必要に迫られれば、検討せざるを得ないと思う。
・LGBTの方達の正式な夫婦として認定する環境が広がって欲しい
・論理的な部分では、危惧する部分もありますが、多様性があってもよいのでは？
・性の多様性はヨーロッパの文化で、性の多様性の尊重については反対します。
・今、自治会では少子高齢化と空き家、空き地の増加が課題となっていますが、誰もが生きやすい環境づくりとして性の多様性は大切な視点だと思います。
・自分の周りで感じる事がなく、問題意識がない。ただ、中学校を訪問したら、それらしい(女性のようにだが男子服を着ている)状況をみた。驚いています。今のところ対応は考えていません。要望等があれば対応するというスタンスです。
・特になし
・だれでも使用できるトイレは障害者用トイレのみ！！自治会としてL.G.B.Tに取り組むのはむずかしい。
・良い取り組みだと思います！
・自治会の会議に直接広報活動を行うか又は広報ビデオ等を配布して広める。
・数年後に会館の建て替え予定があるので委員の方々に伝えて情報共有し、取り組みについて考えていきたい。
・具体的に学習する場が少ない
・市の性の多様性のシンボルマークがあればポスターやちらしに活用できると思います。これより市の考えを広く知らせることができると考えます。
・実際、当事者と接する機会が少ない。あるいは、見えていない状況である。また、とてもセンシティブな社会課題であると思うので、配慮の手段など具体的に示されることで、理解を深めることができれば、と感じる。
・今後もこれまで通り、誰にでも参加できる団体です。
・多様性の理解は、社会生活のあらゆる場面で問われる(必要とされる)と考えます。
・社会の状況に応じてしっかり対応していくことで、話し合っている。
・他府県ではLGBTの方を対象とした活動をしているグループもあります。自分の団体では、特別なことはしていませんが、みなさん関心があることだと思います。
・特に意識はしていませんが、お互い尊重して会を運営しています。
・あまり考えたことがなかったので、意識づけられました。ありがとうございました。
・自治会へ資料(情報)を提供してほしい